

カニ博士になろう！講座

開催しました！



- 日時 令和4年8月11日（木・祝）15：00～17：00
- 会場 堀切自治会館、堀切海岸
- 講師 岡内 博信 氏（坂出高校教諭）
- 講師アシスタント 生物実験教材研究会の先生方

8月11日（木・祝）に、観音寺市豊浜町箕浦の堀切海岸にて、「カニ博士になろう！講座」を開催し、子どもと保護者あわせて18名が受講しました。

まず講師より、カニの特徴や生態についてのお話がありました。カニは脚が10本あるので十脚目（じっきゃくもく）と呼ばれることや、カニのオスとメスは腹の形が異なっており、メスはたくさんの卵を抱けるように大きく広がっているという解説に子供たちは興味津々の様子でした。また、観察時のマナーとしてひっくり返した石は元に戻すことや、カニの捕まえ方について動画を用いた説明があり、受講者はカニの模型を使って上手な捕まえ方を学びました。その後、子どもたちはライフジャケットを着用し、海岸へ移動しました。



はじめに、砂浜を観察すると丸い団子のようなものが多数見られました。これはコメツキガニの食べ跡で、近くの巣穴はコメツキガニのものであると解説がありました。コメツキガニはとても小さく、素早いため受講者は捕まえるのに苦労していました。

次に、岩場での観察を行いました。石をひっくり返すとカクベンケイガニ、ヒライソガニ、イソガニなど、たくさんの種類のカニが見つかりました。また、カニに似たイソカニダマシなどが生息しており、受講者は採取した生き物について講師に質問するなど、カニについての知識を深めていました。



磯では、キンセンガニ、オウギガニ、タイワンガザミの他、タイラギ、ムラサキウニ、クモヒトデ、アオウミウシなど様々な生き物が生息していました。その後、採取した生き物を一つのパレットにまとめ、講師による解説がありました。波打ち際に生息するキンセンガニはすぐに砂に潜る習性があり、その様子を観察しました。観察後、採取した生き物は海へ返しました。



公民館に戻り、まとめと振り返りを行いました。講座の最後に、「普段気にとめない場所でも、観察してみると新しい発見があるので観察してみてほしい」というお話がありました。受講者からは、「小学生にも分かりやすかった」、「カニだけでなく、他の生き物についても詳しく知れた」等の感想がありました。